

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ヒト外分泌腺の老化細胞が周囲結合組織に与える影響の解析

1. 研究の対象および研究対象期間

2024年1月1日から2028年9月30日に昭和医科大学歯学部白菊会で篤志献体された患者さん

2. 研究目的・方法

加齢に伴って目・鼻・口などが渴く「乾燥症候群」には根知的な治療法がありません。乾燥症候群の患者さんでは、体液を体外に分泌する「外分泌腺」の形態的な老化が観察されます。関与臓器の老化には、老化した細胞が炎症を引き起こす物質を分泌し、老化を加速させる「SUSP 分泌」という現象があります。乾燥症候群も SUSP 分泌によって起きていると考えられます。動物実験ではそれを裏付ける結果が報告されている一方で、ヒトでは老化細胞の特定に至っていません。我々は、ご遺体の外分泌腺を用いて老化細胞を特定し、老化細胞が SUSP 分泌を行うかを明らかにします。また、周囲の組織に与える影響を解析します。これらの結果は、乾燥症候群に対する新しい治療法の開発につながることが期待されます。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2029年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

ヒトには耳下腺、頸下腺、舌下腺の3つの大唾液腺があり、さらに口腔粘膜には小唾液腺が開口しています。また、唾液腺とよく比較される外分泌腺には涙腺、胰臓があります。これらの外分泌腺を採取し、標本を作製します。標本に対して老化マーカーを用いた組織学的解析を行い、形態を解析します。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学 氏名 福島美和子

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられるについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和医科大学歯学部口腔解剖学講座 氏名：福島美和子

住所： 142-8555 品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8155